

平成 25 年度 泉苑 事業報告

I 概要

1) (利用者動向) 昨年度に続き、高齢虚弱化が更に進む状況の中、利用者の体調の変化による退所や入院の件数が昨年度に比べ約半数に留まり 100 歳以上の 8 名の利用者をはじめ高齢の方の生きる力を感じる年度であった。耐震改修工事終了後の昨年度より、利用者の過ごし方の検討に加え介護技術の向上に取り組んだ成果も確認された。稼働率も退所数に対し、徐々では有るが、上昇傾向につながった。

2) (職員・育成) 運営状況に見合った適正な人員配置での体制作りを行い、部署ごとのチーム力と個々の育成を強化した。超過勤務時間増加については大幅な減少はできなかった。特養とセンターの協力体制引き続き再検討し、次年度も課題とした。

3) (平成 25 年度事業計画についての報告) 大規模改修・耐震化工事を終了し、新たな生活環境の中、ご利用者の体調の変化が減少した事も環境の変化による改善も認められた。特に空調設備について居室ごとの調整が可能になり虚弱な利用者への細やかな対応が可能になったので猛暑期に退所者が少なかった

4) (平成 25 年度重点の動き)

業務管理体制の確実なチェックと確認作業はさらに前進したが、業務中にご利用者と向き合う時間等の検討課題もあり、次年度の取り組みとなった。職員体制の強化と育成については、引き続き次年度も継続して取り組む。

府中市を通じて他のエリアのケースの入所があり、引き続き福祉的観点での役割を果たした。

II 事業別動向

区分	成 果	課 題
特養	移動用リフト等の福祉用具活用の定着。車椅子上ででの座位姿勢、利用者の身体状況にあう車椅子、安楽な姿勢への職員の意識が高まった。教養娯楽プログラムに沿った活動の実施。逆デイの休止。インフルエンザ B 型の発生、終結に 2 週間程度を要した。	安定した稼働。介護技術向上。感染症予防。生活支援という視点と介護員としての役割の再認識、業務組み立て。
短期入所	緊急性のあるケースの速やかな受け入れ。特養へのスライド入所の増加。短期(予防)入所生活介護計画書の作成と、手順の理解、担当業務を見直し、必要書類の管理、記録、申し送りに注力した。	新規利用者受け入れ。部署内ミーティング。個別ケアの検討と統一したケア。
通所介護	平成 26 年 2 月より認知症対応型通所介護事業を再開した。	認知症対応型通所介護活動の確立。
地域包括支援センター	多問題ケースが増え、高齢部門以外の専門機関とも連携を強化し、ケア会議・ケース検討の充実化を図った。	町別の地域アプローチと認知症支援
居宅介護支援センター	法令遵守を意識しながら、根拠に基づいた業務を実施。年度途中で退職者があり、部署体制が弱体化した。	チームケア体制の強化 ケアマネのスキル向上
事務	各部署との緊密な連絡、連携を図り、さらに効率的な事業遂行のための部門化が進行した。	収支管理の徹底、財政状況の適切な報告情報提供
管理	事業ごとの業務管理体制を強化し日々法令に則った人員配置が行われているかの確認作業が行われるようになり職員の勤務に対する意識向上が図られた。	適正な人員体制の検討と見直し。サービスの質のさらなる向上

III リスクマネジメント

1) 苦情・第三者評価

苦情については大きな問題に発展したケースは無かった。第三者評価は高い評価を得たが、業務の効率化等によるさらなるサービスの質及び職員のモチベーションの維持向上等を求められた。

2) 感染症等予防・蔓延防止の取組

年度を通じて予防に取り組んだが残念ながら年度末の 3 月 21 日から特養利用者インフルエンザが発症したため、順調に進めていた新規入所者受入が停滞した。ただし、施設をあげて蔓延防止に取り組んだことでショート・デイなど在宅への拡大は未然に防ぐことができた。

3) 緊急対応・事故等

大きな事故はなかったが、府中市への報告事項として感染症（インフルエンザ）の発生を計上したため大きな数値になった。

4) 防災訓練状況

しらとりとの合同の訓練を年度を通じて毎月行い、地震想定訓練数を増加させた。

5) 勤務管理

勤務管理を業務管理と認識し、各事業別に日々の人員体制をチェックし整える体制づくりを行った。

IV 事業別年間の実績概要

1) 入所部門

(単位：名)

	定員	利用者（実施数）				入院者数		新規利用		利用終了		平均		待機者
		延べ人数	月平均	稼働日数	稼働率(%)	実人数	月平均	実人数	月平均	実人数	月平均	要介護度	年齢(歳)	
特養	110	35901	2992	365	89.4	41	3.4	27	2.2	21	1.7	3.9	87.8	131
短期入所	15	4899	408	365	89.6	—	—	43	3.6	—	—	2.7	85.2	—

※待機者は、申込書を提出したことがある者を言う。

2) センター部門

(単位：名)

	利用者（実施数）				新規利用		利用終了		平均	
	延べ人数	月平均	年間実人数	月平均実人数	実人数	月平均	実人数	月平均	要介護度	年齢(歳)
通所	7736	644.7	108	74.9	24	2.0	38	3.2	2.2	84.7
予防通所	1404	117	24	14.8	9	0.8	9	0.8	0.7	85.3
認知症通所	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
通所合計	9140	761.7	132	94.3	33	2.8	47	4.0	2.0	85.0
福祉入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-

3) 支援センター部門

(単位：名)

	利用者（実施数）				新規利用		利用終了		平均		
	延べ人数	月平均	年間実人数	月平均実人数	実人数	月平均	実人数	月平均	要介護度	年齢(歳)	
包括総合相談	6272	522.7	1188	99.0	118	9.8			—	—	
介護予防	転倒予防	807	67.3	73	6.1	73	6.1	73	6.1	—	—
	口腔・栄養	189	15.8	17	1.4	17	1.4	17	1.4	—	—
	尿失禁予防	843	70.3	80	6.7	80	6.7	80	6.7	—	—
	認知症予防	368	30.7	34	2.8	34	2.8	34	2.8	—	—
	うつ病予防	69	5.8	6	0.5	6	0.5	6	0.5	—	—
訪問食事	2378	198	30	26.1	8	0.7	6	0.5			
地域デイ	1666	138.8	64	59	20	1.7	3	0.6	0.598	81.8	
予防居宅	1406	117.2	189	117.2	85	7.1	35	2.9	0.766	81.8	
居宅介護支援	1280	106.6	144	12	33	2.7	48	4	2.3	82.7	

4) 苦情・事故報告

	延べ件数	月平均件数	解決件数	未解決件数	対応中件数
利用者からの苦情	7	0.6	7	0	0
事業所からの苦情	0	0	0	0	0
職員からの苦情	0	0	0	0	0
その他苦情	0	0	0	0	0
施設内事故	※ 38	3.2	35	0	3
施設外事故	0	0	0	0	0

※施設内事故には府中市に報告したインフルエンザ発症件数（17件）が含まれている。